

## 台湾から呼び込め〜観光メニュー開発招待ツアー



旭岳姿見の第一展望台で(9月4日)

(財)ひがしかわ観光協会(浜辺啓会長)は9月3日から7日まで、台湾のインターネットブロガーらを招待して4泊5日の観光開発モニターツアーを行いました。

旅行や料理のブログを開設して人気の旅行作家、料理家、写真雑誌のライターとカメラマンら5人。旅先に東川町を選んでもらうための旅行メニューを開発しよう、分野の違う視点から町内の魅力を発掘してもらおうというもの。

一行は旭岳源水、旭岳(標高2千291㍎)の姿見展望台散策、写真の町東川賞受賞作家写真展を文化ギャラリーで見学、農家で穫れたて野菜のグ

リル焼き料理などを満喫。

特にトマトのデザート、スープ、ダツチオープンで炊いた新米「ゆめびりか」、ジンギスカンは、「おいしい」と大絶賛。「体験ツアーとして申し込めできますか?」とこのメニューをさっそく台湾にブログ紹介していました。雑誌ライターは、町内の手作りパン屋さんに立ち寄って、お客さんから一言コメントを取材。開催中だったくらし楽しくフェスティバルのイベントの様子もさっそくブログ紹介。6年前にも来町した、という一人は「以前は退屈な町だったが、今はおもしろい。これからも変化していきそう」と高評価していました。

## 新米出荷に向けて生産者総決起集会

8月29日、東川町農協(板谷重徳組合長)は同農協ホールで25年度東川米全水稲生産者総決起集会を開きました。今年も高品質米出荷に向けて品質を均質にするため改めて出荷米に対する心がけなどを確認しました。

板谷重徳組合長は「地域団体商標を獲得して2年目の出荷となり、評価を高めていくことが大事。今年は重量が

## 東小移転後の町の活性化案を審議

新築移転後の現東川小学校跡地の活用と、同小を核とした新たな中心市街地活性化案を検討するための審議をする東川町中心市街地活性化検討会(委員長・長原淳副町長)と東川町中心市街地活性化協議会(会長・藤田裕三東川町商工会長)が8月26日、同日発足しました。



検討会は、町長の諮問機関として、中心市街地活性化のための施設整備案などの意見を来年1月ごろめどに取りまとめると答申します。

東川町商工会、ひがしかわ観光協会

東川振興公社、東川町農協、東川建設業協会、町内各自治振興会、各種団体代表、住民代表ら町内26人の委員で構成しています。

一方協議会は、経済、住民、福祉各団体の代表者と公的委員3人を含む12人で構成し、町から示される活性化策の審議をします。

町はこれからの中心市街地整備の基本計画を来年10月ごろめに策定予定。両者はそれぞれ3回から7回程度審議を重ね、町の新たな中核施設などの整備案提言に向けて検討作業を行います。

ンド化に向けて、安定生産、安定出荷、食用米、加工・原材料用米などへの取り組みも必要」などと指摘しました。

